

# 令和4年度第3回みやぎ観光振興会議仙南圏域会議 議事録

## 1 開 会

## 2 挨拶

## 3 議 事

- 議事（1）第5期みやぎ観光戦略プラン圏域施策の方向性の具体的事業の進捗状況について
- 議事（2）「みやぎ蔵王三十六景 ぷらす+」について

※事務局から一括説明（議事（1）の市町の取組については各市町から説明）

### 【意見等】

#### （一條委員）

- ・旅館は観光と言わないんじゃないかと思っており、日本人は旅館にゆっくり休憩しにくる。観光というと交通の便のいい駅の近くのホテルに泊まっているという印象。
- ・最近で一番嬉しかったアンケート、盛岡のお客様が仙南が大好きで仙南に何度も足を運んでいるとの事だった。仙南は小さな旅館が多く、高品質な宿が多いと考えている。また一目千本桜を始めとした名所もあり、こうしたブランド創造会議の皆様の努力が実っているのではないかと思う。
- ・コロナ以降、10名以上の団体を断っており、最近では旅館でアクティビティをPRしているところが多く、うちでも丸森町のSUPや舟下りなどをPRしているが遠いので反応が全然無い。外国人は4月の桜目当てで予約が入ってきており、キツネ村と桜かなと思うが、タケヤ交通さんのキツネ村行きのバスは満席でほとんど乗れないと聞いた。
- ・旅行支援が終わったらどうなるのだろうと思っている。働き方改革でスタッフの労働時間が限られ、人件費で会社の負担も増している。人口減少により、客も働き手も減り、単価を上げて少ない人数でやっていかないといけない。
- ・当宿のバーでは、角田の梅や蔵王のハーブなど地元のものを使ったカクテルを提供している。

#### （大宮委員）

- ・蔵王山麓線は2年が経過し、だいぶ根付いてきた。地域の活性に繋がればいいと思い、継続してやっていけたらと思っている。
- ・仙台空港でアジアからの国際線が20便ほど運航再開されると聞いているが、仙台空港とメトロイーストと連携しながら、人の流れを作っていききたい。お客さんもだいぶ戻ってきているという話も聞いている。昨年話したバス路線造成は地域を繋ぐ路線となるのではと考えており、決まった段階で皆さんにお知らせしたい。
- ・乗務員が足りない状況が続いているが、なんとか継続してやっていきたい。

#### （小野寺委員）

- ・桜の時期は町内にたくさん客が来るが、そこからうちまでくる足が無いので、インバウンドは過去に来たことがないが、人の流れは好調で昨年12月以降例年以上の人が来ている。
- ・コロナに対して心構えが変わってきたように感じる。当施設は、桜で賑わう大河原・柴田とキツネ村のある蔵王の中間にあるので、人が来たら対応できる体制をしっかりと整えていきたい。
- ・周遊というよりは、1か所に滞在して長く過ごす方が多く、動物や温泉、食事やBBQ、買い物と1日家族でゆっくりする過ごし方が求められている所があるのかもしれないが、今後、他の地域への波及も進めながら周遊を促進したい。
- ・桜まつりへの出店や例年以上の人の入りでスタッフが厳しいが、コロナを乗り切ったスタッフが残っているので何とかやっているとと思っている。
- ・観光人材育成についてだが、蔵王高校の発表を見てみたいので、そうした機会があれば楽しみにしている。
- ・インボイス関係が懸念される。小規模な農家や高齢の方など、直売に卸すのを生きがいのようにされている人もいるので、単価アップ等会社全体で乗り切っていくしかないかなと思っている。

(笠原委員)

- ・説明いただいた仙南地域の観光施策については、非常に活発にやられている印象。各市町のイベントなど今後も積極的に継続してほしい。
- ・圏域の施策については、是非、観光人材育成に力を入れていただきたい。できればセミナー等を通じて、若手のネットワークができるような場があればと思う。
- ・市町のイベントに関して、多少温度差があるのかなと感じているが、議題（3）とも関係すると思うが、各市町のイベントが周りの市町には意外と分からないこともあるので、共通のキャッチフレーズをつけて圏域全体としてPRしてほしい。例えば、市町のイベント1個ずつ選んでもらってそれを巡るスタンプラリーを行うなど、面としての展開が出来たらいいのではと思う。

(嶋崎委員)

- ・半年ぐらいからコロナの影響が少なくなってきたと感じている。
- ・昨年12月くらいからインバウンドが伸びてきた。例年、桜と離れているからかあまり関係ないのだが、今年の4月は外国人の予約が多い。1日1組限定なので最大でも30泊だが、30泊中8泊が外国人で、割合的にも大きくなっているが、あえて狙ってはいない。
- ・これから桜の時期に多くの人が集まる場で、他の地域を紹介できているのかと思う。またそうしていくべきだと思う。桜以外の時期にはこういう場所があり、こういうところに行けるということを自治体も絡めながら周遊促進のため、情報を発信していくことが大切だと思う。
- ・足下のお客様を大切にする必要があると思っている。距離的に近い人の方がリピーターになりやすい。仙台は非常に重要なマーケットであり、複数回来ていただく事を意識しながらやっていくことが将来につながると思う。

(藤野委員)

- ・去年から趣味性に特化したイベントをたくさんやってきた。
- ・関係人口の解釈として、将来的に移住促進を狙っているようなものではなく、角田は好きで面白い、けど移住するまでではないという方をどう増やしていくかが大切だと思ってやっている。お蔭様でたくさんの人に来ていただいております、いろいろな交流が生まれている。
- ・社員研修として、社員を連れて、県内や福島の道の駅などを訪問している。人材育成では、行政の悪い癖で、何でもアウトソーシングしてしまって丸投げしがちだが、それだと職員がイベントのやり方を知らないという事になってしまう。いかに自前でやるか考える、また、取り組んでいる所を見て刺激を受けられるようなカリキュラムなどが人材育成の取組として重要だと思う。

(村上委員)

- ・昨年あたり行動制限が撤廃され、徐々に5~6%くらい上がってきている。地域クーポンも近隣の温泉帰りの客などに結構利用されている。
- ・道の駅26年目となり、イベントを様々仕掛けている。旬のそら豆やトウモロコシ、花、伝統工芸など地域に根差したイベントを仕掛けていくことで、集客に結びついている。
- ・インボイスについて、97~98%が免税対象の高齢農家の方。免税対象で消費税払っていない分、小売りの方でその分を払うことになり、かなりの増税感がある。今後小さな農家はやめる人も出てくるかもしれない。

(遊佐委員)

- ・昨年12月頃からインバウンドが徐々に増えている。コロナ前に比べて8割程度。中国からの客が訪れていないのがかなり大きいと感じている。
- ・1月10日からみどりの窓口が廃止となり、完全券売機となったが、ご迷惑かけているのかなと思う部分あり、社員には改札にいる方にご案内するよう伝えている。
- ・今月末を持って大河原や船岡など近くの駅でも窓口廃止となり、対面に対応するのは白石・岩沼・仙台くらいの駅となる。
- ・3月18日からJRの体制が代わり、岩沼・多賀城・白石蔵王といった事業所が500人規模の大きな1つの事業所となる「仙台統括センター」が発足する。地域間で交流する事業などを今後もや

っていく方向である。

- ・JR東日本地域ネットワークを立ち上げ、各事業者と意見交換等させていただいている。旅館の方や交通・観光事業者との意見交換もあるので、興味がある場合はお声がけ頂ければご案内したい。

#### (横山委員)

- ・前回も話したが、東京方面から新幹線・阿武隈急行に乗ってきていただき、あぶくま駅から舟下りをするという取組を行ったが、実際のところ雨が少なく、上流のあぶくま駅まで上っていけないということで欠航になることが多かった。
- ・11月と12月には、国の補助金を活用して周遊コースに加え、ナイトクルーズを実施したところ、非常に好評であった。
- ・地域に根差した商品として、たけのこ水煮や梅干しも販売し、2回とも完売するなど好評であった。仙台等でのイベント販売を積極的に行い、売店の方は黒字となった。地域に根差した商品が一つのウリとなっている。
- ・コロナで県外への外出が制限され、県内客が増えた。近場のお客様に何度も来ていただくリピーターの獲得が大事と思っており、船に乗る客は仙台が52～53%を占めている。

#### (志賀委員)

- ・様々な御意見いただき、大変ありがたい。
- ・今後、力を入れていくべきこととして、各市町の取組やイベントに仙南地域としての一体感を持たせPRしていくことが重要。
- ・人材育成について、制度や事業を活用して広域的な観点で場を設けていきたい。地域の担い手のネットワーク作りに繋げていくということを考えていかななくてはならない。
- ・大河原町の資料にサイクルツーリズムの取組があるが、四国のしまなみ海道の取組を一つのヒントとして、「自転車」や「花」など、共通のコンテンツやコンセプト、ツールを生かしながら仙南を盛り上げていきたい。
- ・コロナによる考え方が変わってきており、令和5年度はいよいよポストコロナを本格的にやっていく年。一目千本桜100周年や、県は151年目に入り、節目や明るい兆しとなる1年にしていきたいと思う。

#### (宮原委員)

- ・感想としては、随分、仙南全体のブランドが浮き彫りになってきたと思う。温泉やお菓子、蔵王を軸とした農村や自然などの景観、花を近しく楽しめるエリアになってきた。
- ・花に関してはお願いがあり、東京の2月の楽しみは梅だが、こちらではあまり梅を楽しむ場所がない。仙南にも作物としての梅の場所はあるが、梅の木に近づくことが出来る場所を開放してもらい、近くで梅の花を愛でるとか、ひな祭りと併せて梅の花を見られる祭りなどができたら人が来てくれるきっかけとなるのでは。仙南では桜が Teppan だが、梅の木や花も素晴らしい資源であり、梅の木の近くで花や香りを楽しめるような機会があればもっと良いと思う。
- ・体験では、サイクルツーリズムに複数の市町が取り組んでいる。仙南地域は景観が素晴らしいので、市町同士で連携したロングコースなどの設定も良い取り組みだと思う。また、三十六景の中で、サイクルに適したスポットを巡る取組などもよいのでは。
- ・人材育成については、本日皆さんから頂いた意見を参考にしながら、ご自身の事業とどう繋がられるかという目線で、三十六景ブランドとして見える化していくという取り組みをしていただけたらと思う。

### ■ 議事（3）圏域のキャッチコピーデザインについて ※事務局から資料3により説明

#### 【意見等】

- ・いいっちゃねという言葉が何を指すのかわからないのと、これで伝わるのかということを知りたい。  
⇒（事務局）いいねという意味で、「～っちゃ」は宮城県では標準語。
- ・左上の蔵王があって、桜吹雪が舞っているのが良いと思う。

- ・右上。シールになってもおさまりが良いと思う。
- ・各行政の方にぜひつけていただきたいので、あまり特徴がありすぎないものがないのかなと思い、右上の一番シンプルなものがよいと思った。
- ・右上が分かりやすいと思う。
- ・いいっちゃねのいがへに見えないだろうか  
⇒山を表している。

(事務局)

- ・「い」に見えず「へ」と読まれてしまう可能性があるので、一旦いただいた意見をもとに調整し、後日、メールで皆さんにお伺いする。

(座長)

- ・「左上」と「右上」の2つの案で検討する方向で、後日改めてメールで確認を取ることとしたい。

#### ■ 議事（4）みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨について ※事務局から資料4により説明

【質問・意見なし】

→2品目について推奨承認された。

#### ■ 議事（5）その他

観光政策課及び観光プロモーション推進室より情報提供。

#### 4 その他

(嶋崎委員)

- ・今後、民間主体で運営・検討するような会議について検討いただきたい。
- ・「地域の逸品」の推奨については、そのメリットや効果が分かるよう、ブランド価値を向上させるような取組を期待する。
- ・ワーケーションについてはその効果が疑問であり、需要を感じたことがないがどうなのか。

(宮原委員)

- ・蔵王ジオパークの認定までのスケジュールだが、5月に幕張で申請に向けたプレゼンを行い、そこでokとなれば7～8月に日本ジオパーク委員会から調査員が3名派遣され、現地調査・審査を行う。その後9月に認定可否の審議が行われ、そこで認定となれば秋からスタートする。現地調査の際には、山や自然のみならず、地域との関わりが重要視されることから、仙南の観光施策を進めていくに当たってはジオパークとの連携を推進してほしい。

(村上委員)

- ・嶋崎委員の意見にあった民間主体の会議運営等については、理想ではあるが、現実的にはなかなか難しいのではないかと。

(一條委員)

- ・ワーケーションについて、各宿泊施設が補助金を活用し、施設整備を行っているが、当宿についてはあまりワーケーションを行う客はいないが、希望する方がいれば、Wi-Fiが整備されている部屋で対応可能としている。ワーケーションに対する需要は無いと感じている。

#### 5 閉会（以上）